

## グッピーのオス、メスは、<sup>みわ</sup>見分けられるの

### <sup>からだ かたち みわ</sup>体の形で見分けられる

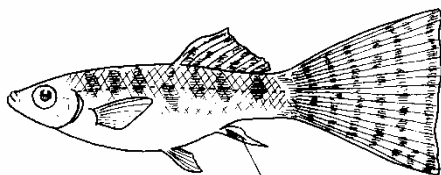
グッピーは、<sup>ねったいぎよ</sup>熱帯魚として、<sup>かいがい ゆにゆう</sup>海外から輸入されたものです。でも、日本の<sup>おがわ み</sup>小川で見られるメダカと同じ仲間になります。<sup>おな なかま</sup>最近、<sup>さいきん</sup>にげ出して<sup>だ やせい</sup>野生化したグッピーが、<sup>おんせんち あた</sup>温泉地の<sup>あたた</sup>温かい川で見られるようです。

グッピーのメスは、オスより<sup>じ み いろ</sup>地味な色で、<sup>おな</sup>おなかが<sup>まる</sup>丸っこい<sup>たいけい</sup>体型です。オスは、メスより<sup>からだ いろ うつく</sup>体の色が美しく、<sup>たいけい</sup>体型が<sup>ほそなが</sup>細長くてスマートです。メスに比べて、オスの<sup>くら</sup>しっぽや<sup>せ</sup>背びれは、<sup>からだ おお</sup>体の大きさの割には、<sup>わり</sup>長くて大きく、<sup>なが</sup>特に<sup>おお</sup>しりびれが<sup>とく</sup>変形してできた<sup>へんけい</sup>交尾器(オスの<sup>こうびき</sup>精子を<sup>せいし</sup>メスのおなかに<sup>つか</sup>わたすとき使う)は、<sup>おお</sup>大きくて<sup>りっぱ</sup>りっぱです。

### <sup>すい</sup>水<sup>うご</sup>そうでの<sup>かた</sup>動き方でわかる

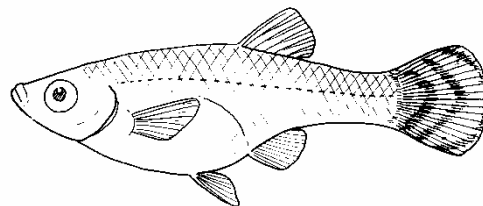
グッピーは、日本のメダカと同じように、<sup>おな</sup>子どもが<sup>こ</sup>産めるまで<sup>う</sup>成長する(生後<sup>せいちよう</sup>2～3か<sup>せいご</sup>月<sup>げつ</sup>ぐらい)と、オスがメスを<sup>お</sup>追いかけてまわします。やがて、メスのおなかに<sup>たまご</sup>卵ができ、その<sup>たまご</sup>卵は、メスのおなかでかえって、<sup>お</sup>5～6ミリメートルぐらいの<sup>こざかな</sup>子魚で<sup>すいちゆう</sup>水中に<sup>う</sup>産み出されます(グッピーは<sup>らん</sup>卵<sup>せい</sup>たい生です)。<sup>すい</sup>水<sup>お</sup>そうで、いつも<sup>お</sup>追いかけているのがオス、<sup>お</sup>追いかけて<sup>お</sup>いるおなかが<sup>お</sup>大きいのがメス、ということで<sup>みわ</sup>見分けが<sup>つか</sup>つきます。

(監修・安部 義孝)



オス

交尾器



メス

